平成28年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立西浜中学校
作成日	平成29年2月28日

1 教育目標

『創造力に富んだ心豊かでたくましい生徒の育成』 『自ら学び、ともに生きる』
--

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	よく取り組んでいる	概ね適切であると考え	概ね適切であると考え
取組の状況に対する意見	積極的に取り組んでおり、地域との連携に努めている。保護者や地域住民等の行事への参加は積極的に取組み、連携にも努めている。	生徒会、部活動の他学年別のキャリア教育にも熱心に取り組んでいる。生徒会活動や部活動にも率先して取り組むとともに各種の体験活動や市民性を育てる取組にも積極的である。	落ち着いた学習環境が保たれている。学校での学習活動は落ち着いており、共助の体制も出来ている。自ら問題解決学習にも取り組んでいる。
検証結果に対する適切さの意見	細かく評価し、改善に活かされている。学校が主体的に改善点を洗い出すことで、さらなる向上に努める姿勢が見える。	細かく評価し、改善に活かされている。意欲的に改善していこうとする学校の姿勢が見える。生徒の心に響くような教育活動にも取り組んでいる。	細かく評価し、改善に活かされている。学校全体の学力を向上させるため、生徒個々の能力にあった授業を実施しており、さらなる向上を目指して実践している。
改善方法に向けての意見	次年度は創立70周年の節目の年でもあり、同窓会を含む地域や他校との交流を含め、なお一層これまでの取組を継続していただきたい。これまでの教育実践を継続しつつ、地域を巻き込む交流を計画的に連携・実践することが大切である。校区内の小学校との連携と交流も大切である。	挨拶から始め、言葉遣いや人とのコミュニケーション力を生活の中でまなんでいける様、引き続きご指導いただきたい。先生方への信頼感は、教育活動を実践するうえで必要不可欠なものであると考えます。今後とも、揺るぐことなく継続して指導して欲しい。	学校内は落ち着いた環境であるように思えるが、先生生徒及び保護者の意識調査の結果をみても改めて意識付けすることで、より一層整った環境づくりができる様に感じた。生徒一人ひとりの能力が発揮できる環境整備も大切で、学力はもちろんのこと生きる力を含めた総合的な学力の向上も大切であると考え

3 其他のご意見

<p>学校内の環境整備は、生徒たちの心の内に大きな影響を与えます。教職員・地域住民・保護者等の協力のもと、様々な要望にも応えつつ、現状に満足することなく、さらなる向上に取り組んで欲しい。</p> <p>学校内での様々な課題もある中、一人ひとりの生徒を大切にすることを第一とし、必要に応じて保護者をはじめ学校関係者にも協力を仰ぐことで活力ある学校作りに取り組んで欲しい。</p>
--